

令和3年県民意識調査のお知らせ

県では、「新・宮城の将来ビジョン」や「宮城県震災復興計画」に関する取組について、県民の皆様への重視度・満足度や、今後優先すべきと思うテーマ等をお聞きする「県民意識調査」を、下記のとおり行います。

調査結果は、公表するとともに、今後の施策や県政運営に役立てたいと考えております。調査票がお手元に届いた方は、調査の趣旨を御理解いただき、積極的に御回答いただくようお願いいたします。

また、今回の調査から、新たにインターネットによる回答を導入し、より回答しやすいようにしております。

報道機関の皆様におかれましては、広く県民の皆様へ周知してくださるようお願いいたします。

記

■調査の概要

1 調査目的

行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号）第7条の規定により、県の取組について県民の皆様の重視度や満足度などを調査し、その結果を県の政策評価・施策評価や事業等の企画立案などに活用するもの

2 調査対象

宮城県に居住する18歳以上の方 4,000人（選挙人名簿等から無作為抽出）

3 調査方法

対象者へ郵送により調査票を配布しますので、調査票が届いた方は、郵送又はインターネットによる回答をお願いします。

4 調査期間

令和3年11月25日（木）から同年12月20日（月）まで

5 調査項目

- 「宮城県震災復興計画」に基づく7分野23の取組の重視度、満足度に関する項目
- 「宮城県の復旧・復興の進捗状況」に関する項目
- 「新・宮城の将来ビジョン」に基づく8つの「つくる」（18の取組）の重視度、満足度、今後優先すべきと思うテーマに関する項目 ほか

【インターネット回答のイメージ画像】

ログイン画面

ID:
IDを入力してください

パスワード:
パスワードを入力してください

Login

郵送された調査票の表紙に記載されているIDとパスワードを入力し、「Login」をクリックしてください。

◆ 調査回答の方法

調査をお願いした御本人(封筒の宛名となっている方)がお答えください。
なお、記入の際は、濃い鉛筆やボールペンなどを御使用ください。また、一旦記入した内容を訂正する場合は、訂正後の回答がはっきり分かるようにしてください。
本調査は紙(本紙)または、インターネットで御回答ください。
※インターネット回答を希望される方は、本紙2ページを御覧ください。また、インターネットの回答ページにログインする際は、下に表示しているID及びパスワードの入力が必要となります。

ID	パスワード
----	-------

宮城県震災復興計画について

(パソコン画面イメージ)

分野1 環境・生活・衛生・廃棄物

取組1 被災者の生活環境の確保

取組概要

応急仮設住宅・災害公営住宅の入居者などを幅広く支援する体制を整え、生活支援全般にわたる相談などに対応する。また、被災者の生活再建に向けて、災害公営住宅の供給などによる住宅再建を支援し、さらに、地域コミュニティの再構築や絆を深めるための様々な活動を支援する。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 被災した高齢者などが災害公営住宅等で安心して生活できるよう、市町が設置するサポートセンター等を支援した。
【成果等】9市町、28か所の拠点(令和2年4月末現在)
- 被災者の生活再建に向けて、災害公営住宅の整備を行った。
【成果等】21市町の計画戸数15,823戸全戸が完成(平成31年3月末)
- 被災者の自力再建を支援するため、二重ローンに対する助成や、住宅再建相談会等を行った。
【成果等】補助金交付決定件数955件、住宅相談会開催回数600件(令和3年3月末現在)
- 仮設住宅から災害公営住宅等への移行後において、自治組織等が自発的に取り組む地域コミュニティ再生活動の支援を行った。
【成果等】補助金交付決定件数37件(令和2年度実績)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選択してください。

問1

1 重要 3 あまり重要ではない 5 分らない

2 やや重要 4 重要ではない

問2

1 満足 3 やや不満 5 分らない

2 やや満足 4 不満

(スマートフォン画面イメージ)

令和3年県民意識調査

取組1 被災者の生活環境の確保

取組概要

応急仮設住宅・災害公営住宅の入居者などを幅広く支援する体制を整え、生活支援全般にわたる相談などに対応する。また、被災者の生活再建に向けて、災害公営住宅の供給などによる住宅再建を支援し、さらに、地域コミュニティの再構築や絆を深めるための様々な活動を支援する。

■県はこれまで、こんな取組を主に行ってきました。

- 被災した高齢者などが災害公営住宅等で安心して生活できるよう、市町が設置するサポートセンター等を支援した。
【成果等】9市町、28か所の拠点(令和2年4月末現在)
- 被災者の生活再建に向けて、災害公営住宅の整備を行った。
【成果等】21市町の計画戸数15,823戸全戸が完成(平成31年3月末)
- 被災者の自力再建を支援するため、二重ローンに対する助成や、住宅再建相談会等を行った。
【成果等】補助金交付決定件数955件、住宅相談会開催回数600件(令和3年3月末現在)
- 仮設住宅から災害公営住宅等への移行後において、自治組織等が自発的に取り組む地域コミュニティ再生活動の支援を行った。
【成果等】補助金交付決定件数37件(令和2年度実績)

この取組に対するあなたの重視度(問1)と満足度(問2)について、それぞれあてはまる番号を1つ選択してください。

問1

1 重要 2 やや重要

設問「宮城県震災復興計画について」(調査票5ページ)
※あてはまる番号の【○】をクリックし、回答してください。